

大成九条の会ニュース

大成九条の会事務局発行

(連絡先) 泉 賢二

電話・FAX：047-342-9982

損保9条の会 第19回講演会に84名がリアル参加

新型コロナウイルス感染が第8波の様相を呈する中で新年を迎えました。コロナから命を守るため、根絶に向け、国と自治体による一層の対策が求められています。大成九条の会ニュースをご送付します。

昨年10月2日に北とびあペガサスホール(王子)でコロナ対策を講じて開催した損保9条の会第19回講演会は、孫崎 享 氏を講師に迎え、「平和構築への確かな道 日本と東アジアの今後を見据えて」と題した講演が行われ、リアルで84名(大成九条の会から9名)が参加しました(裏面に講演内容を掲載)。ユーチューブ視聴者は111名(2022.12.27時点)にのぼっています。なお、損保九条の会HPの講演動画(<https://youtu.be/794wySqS-YM>)に搭載していますので、視聴下さい。

昨年は、大成九条の会に18名の方から72,000円にのぼるカンパが寄せられました。深く御礼申し上げます。引き続き、憲法九条を守り、戦争のない平和な日本と世界を実現するために、皆さんと一緒に取り組みを進めていきたいと思えます。

今年も、5月3日(水・祝)憲法集会への参加、10月21日(土)損保9条の会第20回講演会開催(王子・北とびあ)を予定しています。皆様の参加をお待ちしています。

総がかり実行委員会、「安保3文書改定の閣議決定撤回を求める声明」を発表

岸田内閣は、昨年12月16日、「国家安全保障戦略」など安保3文書を閣議決定しました。歴代政権が違憲としてきた敵基地攻撃能力(反撃能力)の保有を明記し、日本が攻撃されていないもとでも、アメリカからの要請があれば、「存立危機事態」(集団的自衛権の行使)で敵基地攻撃を可能とし、「日米が協力して対処していく」(国家安保戦略)と盛り込みました。敵基地攻撃のためのアメリカ製の長距離弾道ミサイル・トマホークなど大量のミサイル配備計画も明記し、戦後安保政策の根幹である「専守防衛」を大転換しました。また、軍事費の規模を「国内総生産(GDP)の2%」とし、2023年度から5年間で4.3兆円に増額すると明記しました。現行計画の1.5倍超の大軍拡であり、実行されれば、世界第3位の軍事大国になります。こうした日本の安全保障政策・国家戦略の大転換を、国民の信を問うことなく、国会の議論もなく、閣議のみで決定した岸田内閣に断固抗議するとともに、直ちに撤回を求めるものです。

戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会(九条の会を含む団体に構成する「9条改憲NO!全国市民アクション」の構成団体)は、12月17日、「安保3文書改定の閣議決定撤回を強く求める声明ー戦争への道を再び歩むな!敵基地攻撃の準備ではなく対話と交渉を!」(別紙参照)を発表しました。閣議決定の撤回を求め、志を同じくする市民、団体にともにたたかっていくことを呼びかけています。

「憲法改悪を許さない全国署名」、大成九条の会に144人から484筆寄せられる!

「9条改憲NO!全国市民アクション」が呼びかけた「憲法改悪を許さない全国署名」(憲法9条に自衛隊を書き込むことと緊急事態条項を創設することなどの改憲4項目に反対し、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし、医療、公衆衛生などの向上を実現する政治を求める内容となっています)の取り組みは、損保9条の会全体で1,533筆が寄せられており、大成九条の会は144人から484筆が寄せられました。

また、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)が呼びかけた「核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」は、大成九条の会には163人から583筆が寄せられています。損保9条の会全体で2,034筆が集約されています。2021年1月22日に発効した核兵器禁止条約は、署名国が91カ国・批准国が68カ国になっています。(2022.9.22時点)

(大成九条の会 事務局メンバー) 石川毅・戸谷弘美・石田公子・泉賢二・佐藤秀光・福嶋謙・村上護

(裏面に続く)

外交評論家・元外務省情報局長 孫崎 享さんが講演



(孫崎 享 氏)

講演に先立ち、全国で憲法9条を守り活かす活動を展開している仲間から、主に大阪・関西地域で活動している大阪損保革新懇の張間恵樹会長、商社を基盤に活動している商社九条の会・東京の飛山幸夫世話人からエール交換のご挨拶をいただきました。

次に、外交評論家・元外務省国際情報局長の孫崎享さんが登壇し、「平和構築への確かな道—日本と東アジアの今後を見据えて」と題して講演をいただきました。孫崎さんは、ご自身の外務省・外交官時代の経験や内外の豊富な情報をもとに、ウクライナとロシアのこれまでの関係や紛争の経緯、NATOの東方拡大やロシアの主張にふれながら、「NATOとロシアの過去の『約束』であったウクライナに拡大しないこと、ウクライナ東部に民族自決権を与えることが唯一の解決策であり、そこに立ち返る当事国と国際政治が外交努力を尽くす必要がある」と力説されました。

また、東アジアの台湾等をめぐる問題にも言及され、「台湾の取扱いに関するアメリカと中国、尖閣問題をめぐる日本と中国の過去の『合意』が尊重されなければならず、その『合意』を厳守する外交努力こそ求められる」と締めくくられました。会場参加者からの質疑に孫崎さんが一問一答式で答えるコーナーでは、8つもの質疑に対して、孫崎さんがてきぱきと回答され、大変好評でした。休憩時には孫崎さんの最新の著書『平和の創る道の探求』のサインセールがあり、参加者は次々と買い求め、孫崎さんのサインの列に並んでいました。

参加者からは「ウクライナ戦争の背景にNATO拡大があることを初めて知った、まだまだ知らないことが多いことに気づいた」「軍事力強化はやむを得ないと考えていたが、戦争で失うものがあまりにも大きい、戦争にならない外交努力こそが重要であると思った」などの感想が寄せられました。当日の会場参加者は84名、ユーチューブによる視聴者（事後視聴を含む）は82名でした。（損保9条の会HPから）

〈「大成九条の会」会計報告〉

2022.12.31時点での会計状況（見込み）は以下の通りです。

| | 項目 | 金額 |
|---|---------------------------------|---------|
| 1 | 2022年8月末残高 | 35,434円 |
| 2 | 2022年9～12月のカンパ収入（振込手数料・通知書料金控除） | 57,569円 |
| 3 | 2022年9～12月の支出（通信費・印刷費等） | 54,543円 |
| 4 | 2022年12月末残高（見込み） | 38,460円 |

※講演会の参加協力費1,000円は、収入に含まれていません。